

三角巾ノ足踵卷

三部ニ於テ8字形ニ卷キ終リニ下腿ニ輪卷ヲ行フ(第百三十圖3,4,5)

其三 三角巾ノ足踵卷

足踵ノ綳帶ハ又三角巾ヲ以テ之レヲ行フコトヲ得其ノ法左ノ如シ
先ツ半巾ヲ二切シ小ナル三角巾ヲ作ル(半巾ヲ更ニ半巾トナス)

三角巾ヲ二切シテ半巾トナシ半巾ヲ更ニ二切シテ小サキ三角巾トナシ之レヲ尖頂ヨリ其ノ中央マテ截裂ス
又木綿ヲ方形ニ截リ之レヲ對角線ニ折リテ三角形トシテ用フルモ可ナリ

卷方

(一) 小三角巾ノ上ニ足踵ヲ尖頂ニ向ケ足蹠ヲ下縁ノ上ニ置ク(第百三十一圖1)

第百三十一圖 三角巾足踵卷



足ノ全包帶

(二) 巾ノ兩端ヲ取り足背ニ廻ハシテ結ヒ(第百三十一圖2)
(三) 次ニ尖頂ノ二裂シタル端ヲ交叉シテ跟骨部ヲ被ヒ

足關節ノ前面ニ廻ハシテ結フ(第百三十一圖3,4)

其四 足ノ全包帶

足ノ全部ヲ被フニハ左ノ法ヲ行フヘシ

卷方

(一) 下腿下端ニ輪卷ヲナシ
(二) 足踵ヨリ趾尖ニ向ツテ數回纏絡シ順次總趾ヲ被ヒタル後螺旋卷ニテ上リ
(三) 次ニ足關節ニ麥ノ穂卷ヲ旋シ下腿ニ輪卷ヲナシテ終ル(第百三十二圖1,2)



コノ端ヲ左右交互ニ前面ニ廻シテ結フ



注意

一、各趾間ニハ綿花又ハガーゼ等ヲ挿入シ且ツ趾尖ニハ初メ綿花ヲ被ヒ帶ノ壓迫ヲ受ケシメサルヲ要ス

足背及足趾ノ繃帶

其五 足背及足趾ノ繃帶

足背又ハ足趾ノ小創ヲ被フニハ半巾ヲ用フ

卷方

(一) 半巾ヲ疊三角巾トナシ其ノ中央ヲ足背ニ當テ

(二) 左右ヨリ足趾ヲ廻ハ

リ足背ニ於テ兩端ヲ結フ(第百三十三圖)

圖三十三百第

帶繃ノ背足巾角三



圖四十三百第

帶繃ノ背足巾角三疊



圖二十三百第

帶包全ノ足

1



2



又全巾ノ疊三角巾ヲ以テ足背ニ×形ニ交叉シテ卷クモ可ナリ其ノ法左ノ如シ

卷方

疊三角巾ノ中央ヲ足趾ニ當テ左右ヨリ上リ足背ニテ交叉シ斜ニ足關節上ニ上リ兩端ヲ廻ハンテ結フ

(第百三十四圖)

足ノ全部ヲ被フニハ左ノ法ヲ用フルヲ可トス

卷方

(一) 三角巾ノ下縁ヲ足踵ノ後方ニ向ケテ足ノ下ニ

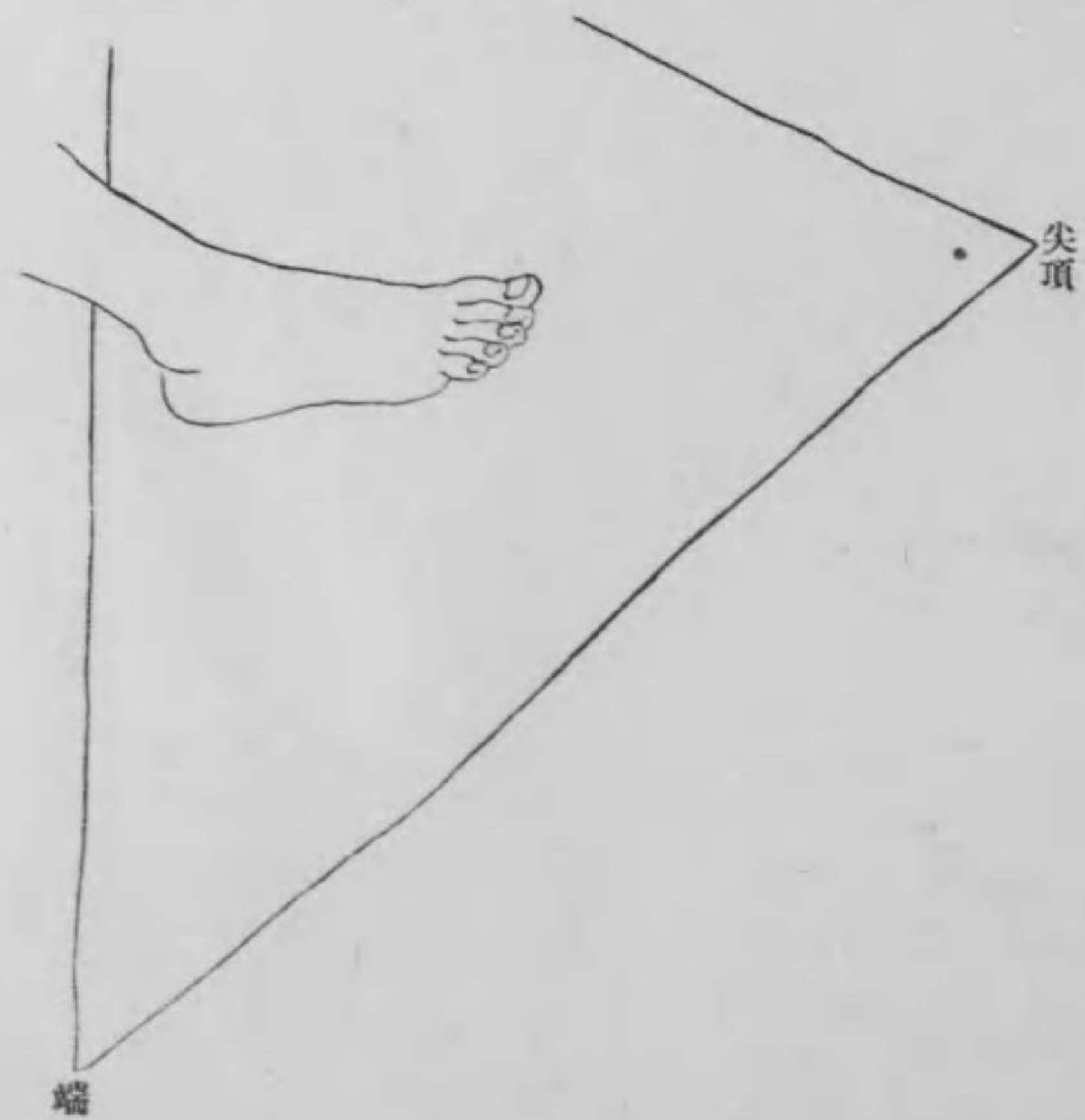
敷キ(第百三十五圖1)

(二) 尖頂ヲ足背ニ折リ返シテ足ヲ被ヒ

圖五十三百第

帶包全ノ足巾角三

1



(三) 次ニ兩端ヲ足背ニテ左右ヨリ廻ハシ足關節ヲ纏ヘ結フ(第百三十五圖2、3)

注意

一、兩端ハ足關節ヨリ更ニ足趾ヲ廻ハリ足背ニテ結フトキハ其ノ固定確實ナリ然レトモ足關節ヲ廻ハシテ該部ニテ結フモ可ナリ(第百三十五圖2、3 參照)

二、趾ヲ卷クニハ細

裂シタル卷軸帶

ヲ以テスヘシ其

法第百十二圖指

ノ繃帶ニ同シ(第

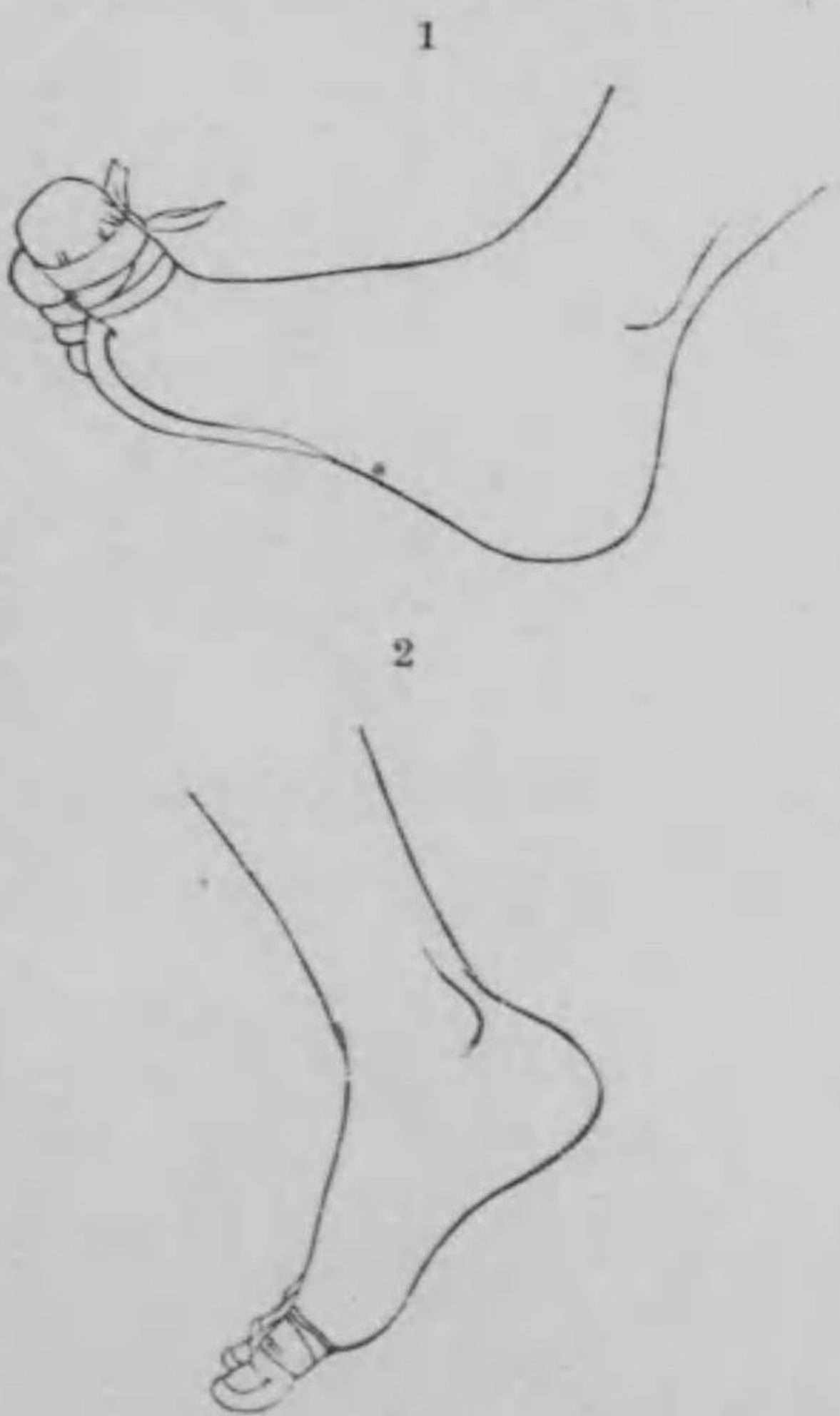
百三十六圖1、2)

下腿ノ卷方

第三 下腿ノ卷方

下腿ニ行フ繃帶ハ創

第百三十六圖 趾背ノ繃帶



足背ニ於ケル方結

足關節ニ於ケル方結

下腿輪卷

ノ大小ニ依リ其ノ卷方種々アリ

其一 下腿輪卷

最モ單純ナル卷方ニシテ單一ノ環行帶ナリ各帶全ク重襲ス(第百三十七圖)

疊三角巾ノ下腿繃帶

其二 疊三角巾ノ下腿繃帶

三角巾ハ半巾ニテ足レリ之レヲ疊三角巾トナシ其ノ中央ヲ創部ニ當テ左右ヨリ廻ハシ前帶ノ中央ニ於テ兩端ヲ結フ(第百三十八圖)

下腿螺旋卷

其三 下腿螺旋卷

輪卷ヲ以テ始メ各帶順次二分ノ一乃至三分ノ二ヲ被ヒツツ卷キ上リ輪卷ヲ以テ終ル(第百三十九圖)

螺旋卷ニ單ニ螺旋卷ト稱スルモノト走行螺旋帶、蛇行帶又ハ匍行帶等ノ名

第百三十七圖 下腿ノ輪卷



第百三十八圖 疊三角巾ノ下腿繃帶



下腿折返卷

稱アルコト第一編第一章所説ノ如シ

其四 下腿折返卷

卷方

- (一) 下腿下端ニ輪卷ヲ以テ始ム
- (二) 次ニ帶ヲ左拇指ニテ押ヘ右手ニテ帶ヲ斜ニ下方ニ反轉シ螺旋卷ニテ一廻

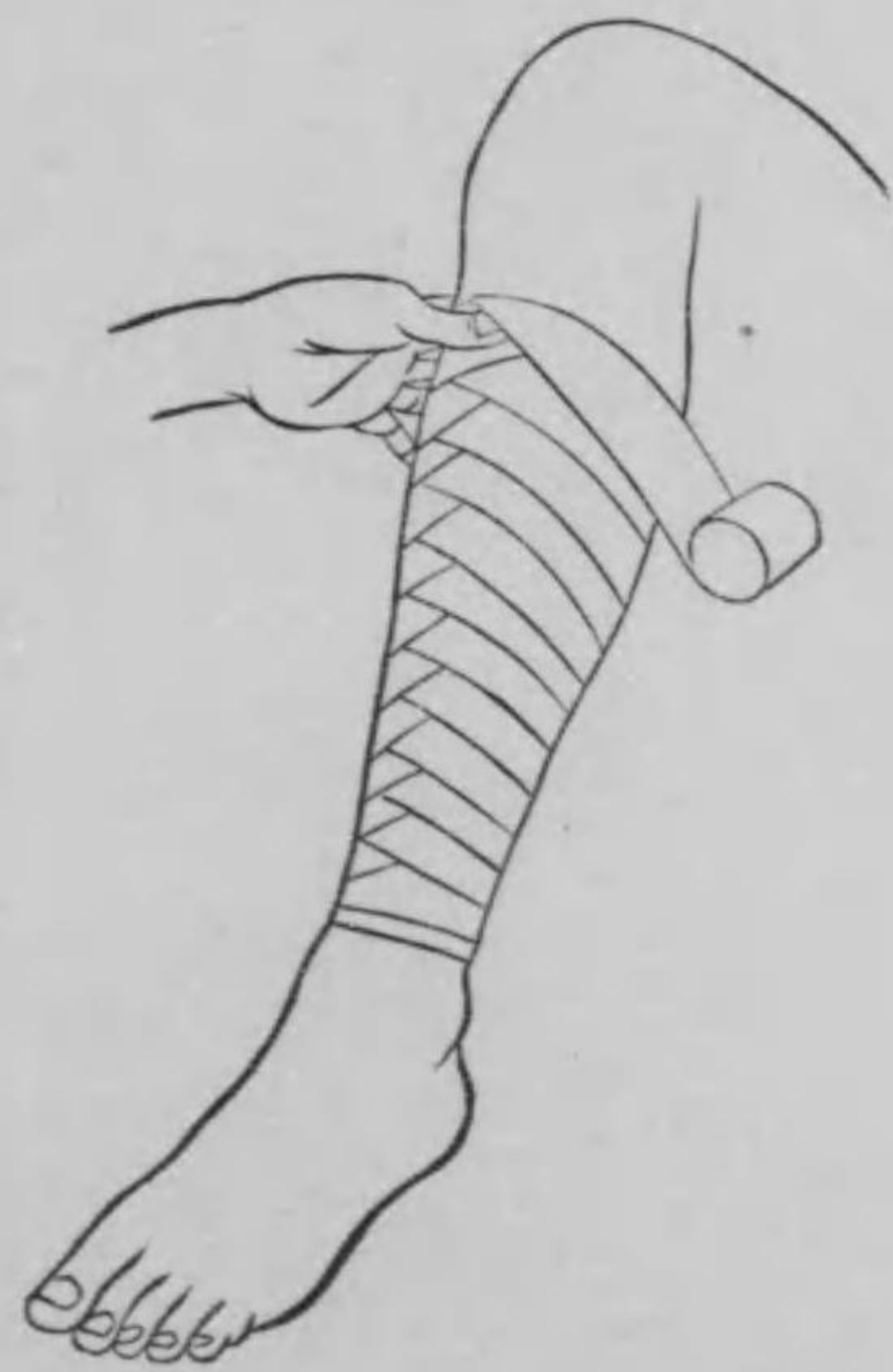
シ順次折轉シテ卷キ上リ輪卷ヲ以テ終ル(第四百十圖)

注意

- 一、折轉ハ下腿正面ニ於テスヘシ
- 二、折返卷ハ各帶毎廻悉ク折轉ヲ行ハスシテ折返卷ト螺旋卷トヲ混用スルヲ可トスルコトアリ

圖十四百第

卷返折腿下



圖九十三百第

卷旋螺腿下



兩頭軸ノ下腿ノ喰違卷

三、折返卷ハ體ノ細キ處ヨ

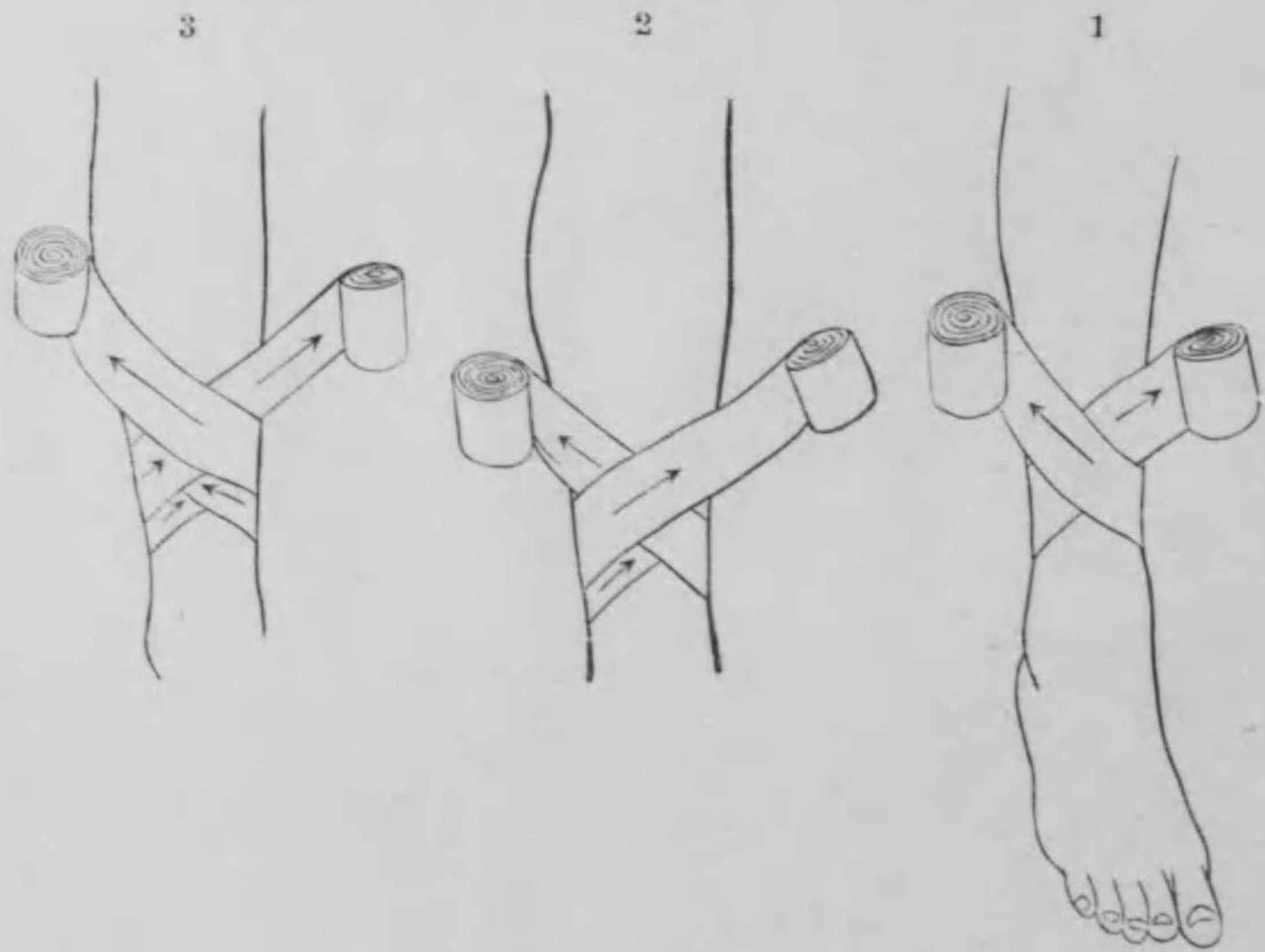
リ太キ處ニ移行スル部位ニノミ之レヲ行フヘキモノニシテ太キ處ヨリ細キ處ニ移行スル部位例之下腿ノ上方ノ如キ部位ニ對シテハ之レヲ要セス故ニ下腿ハ中央ニノミ折返卷ヲ行ヒ上方及下方ハ螺旋卷ニテ可ナリ

其五 兩頭軸ノ下腿ノ喰違卷

卷方

- (一) 兩頭軸ヲ一軸ツツ兩手ニ

圖一十四百第 卷違喰腿下ノ軸頭兩



持チ其ノ中央ノ
外面ヲ下腿下端
ノ後面ニ當テ

(二) 先ツ左方ノ一軸

ヲ下腿ノ前面ヲ斜ニ右上方ニ上リ右側ニ固定シ置キ
此ノ處ニテ一手ニテ支ヘ置クヘシ

(三) 次ニ右方ノ一軸ヲ下腿ノ前面ヲ斜ニ左上方ニ上リ左側ニ固定シ置ク
此ノ處ニテ軸ヲ支ヘ置クヘシ

(四) 次ニ右ノ方法ニ依リ左ノ軸ヲ右側ヘ廻ハシ置キ次テ右ノ軸ヲ左側ヘ廻

ハシ置キ左右交互ニ一

輪卷又ハ螺旋

回ツツ卷キ上リ

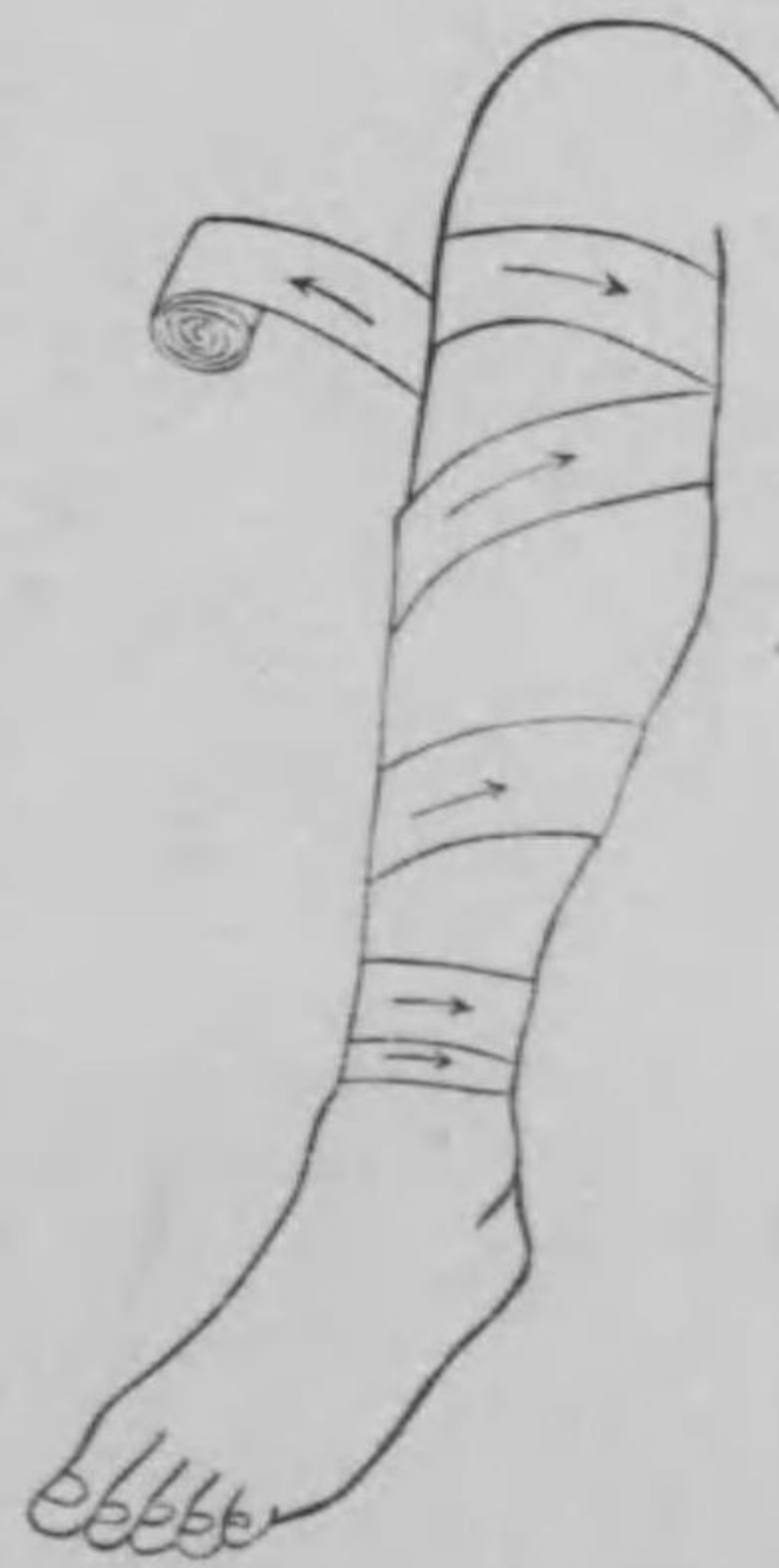
(五) 輪卷又ハ螺旋卷ヲ以テ

終ル(第百四十一圖)

注意

一 左右ヲ交互ニ一廻ツツ

第百四十二圖
一頭軸ノ下腿ノ卷違喰



一頭軸ノ下腿
ノ喰違卷

卷○キ○行○キ○左○右○同○時○ニ○卷○ク○ヘ
カ○ラ○ス

二、左右同時ニ卷クトキハ後面
皺襞多ク平等ニ卷クコト能
ハス

三、人字形ハ正面中央ニ一直線
タルヘシ

其六 一頭軸ノ下腿ノ

喰違卷

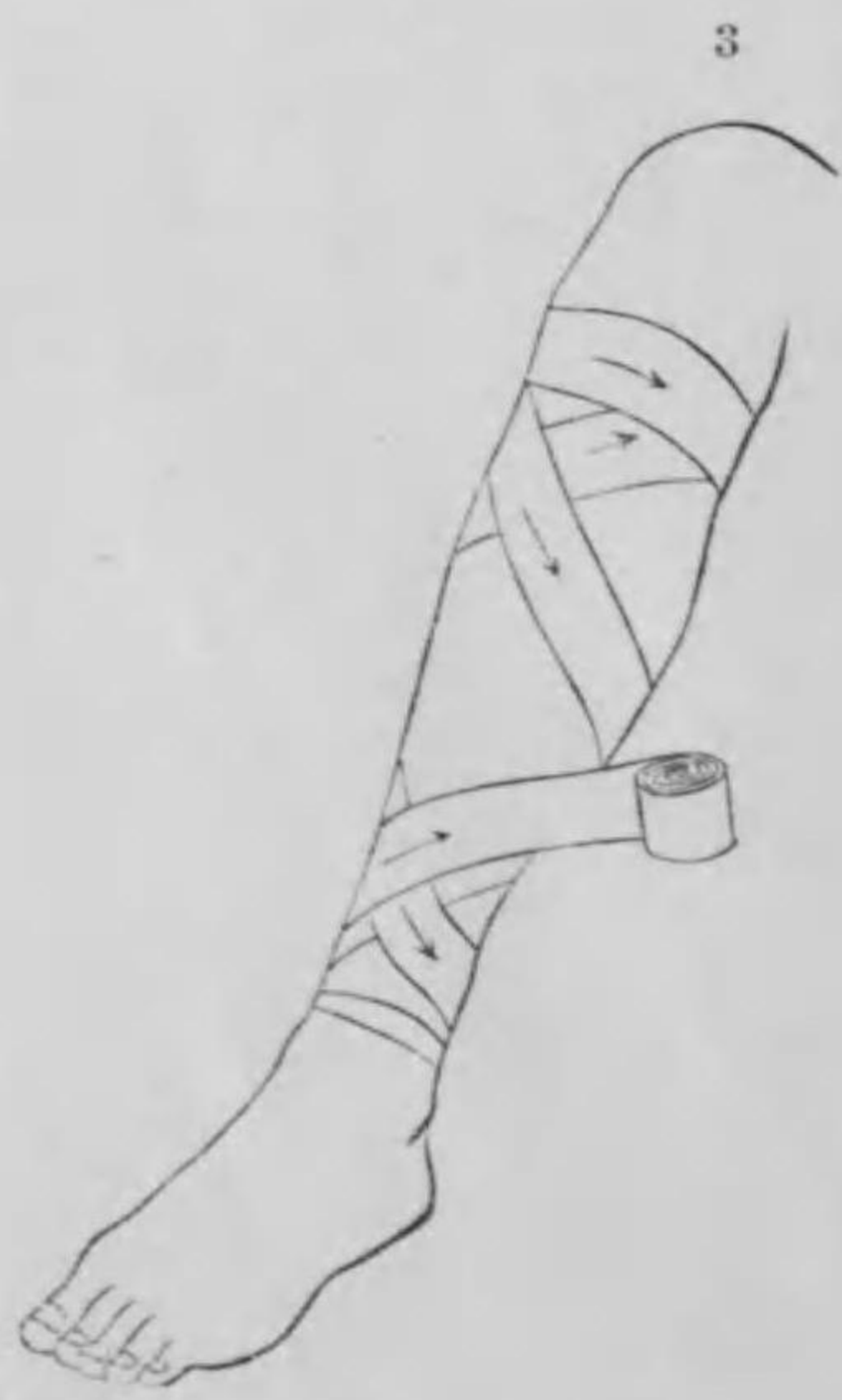
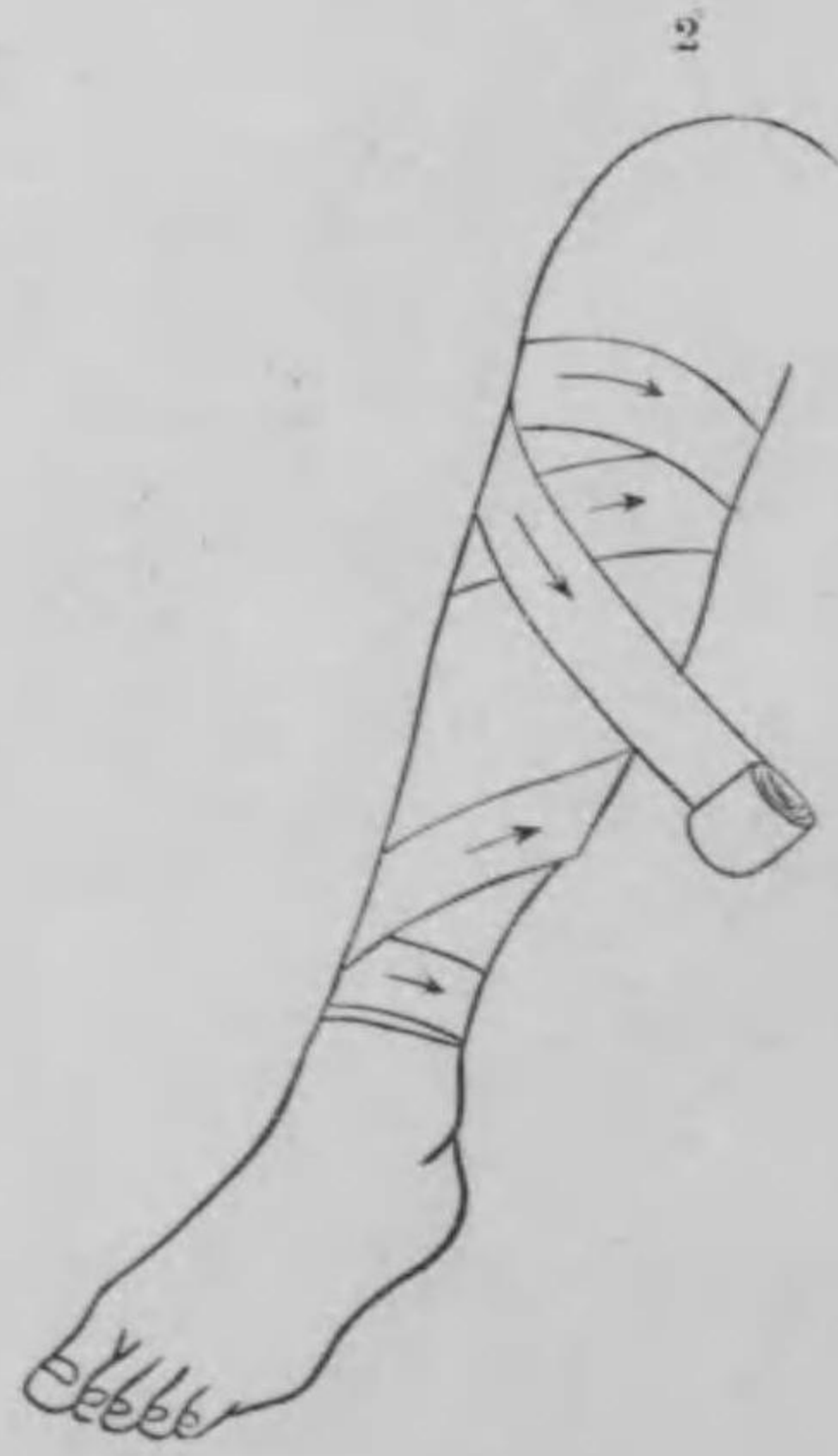
卷方

(一) 先ツ下腿下端ニ輪卷ヲナス

(二) 次ニ走行螺旋帶ニテ上リ膝

關節下ニ至リテ輪卷一回ヲ
行ヒ(第百四十二圖1)

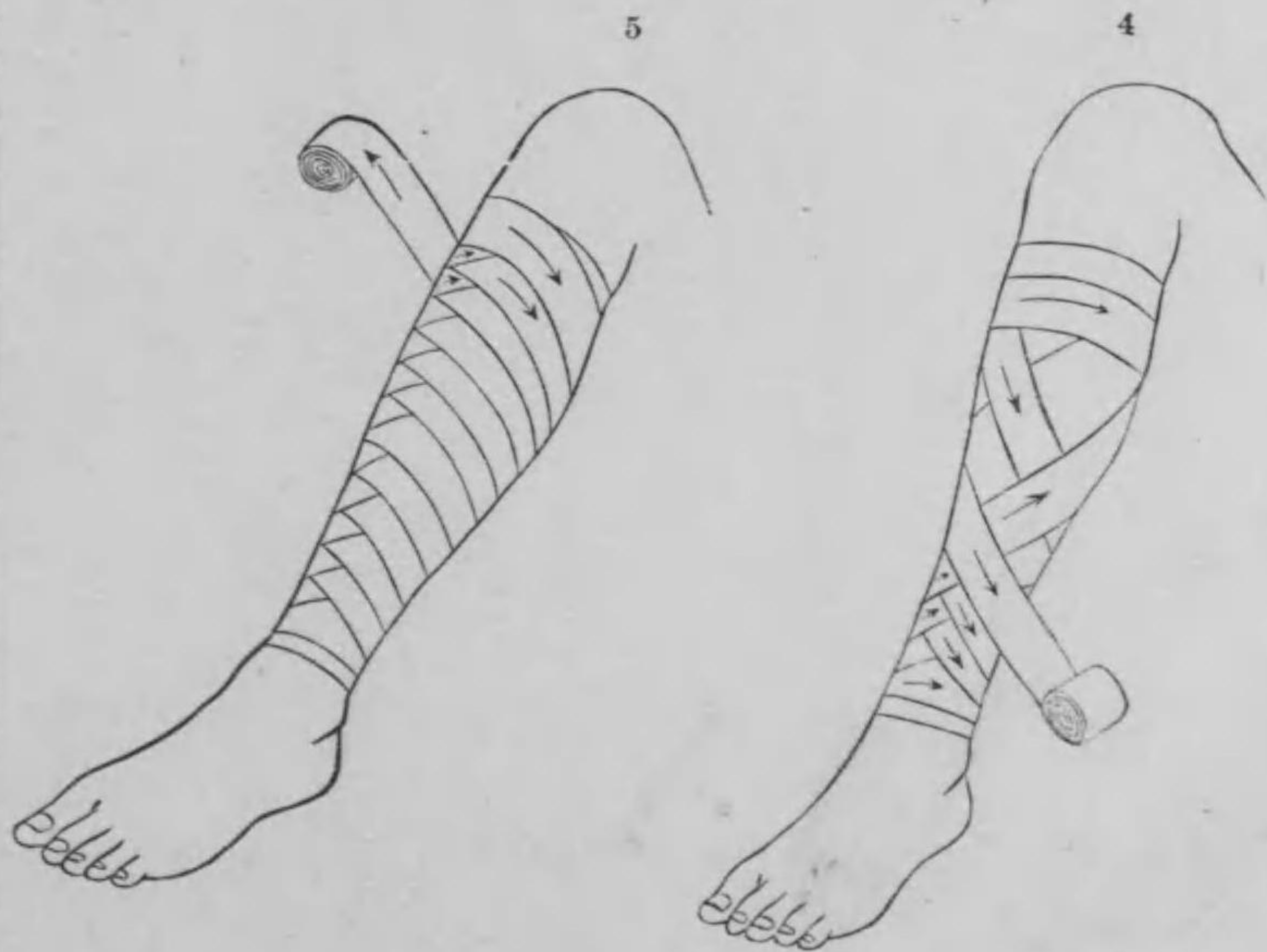
(三) 更ニ走行螺旋帶ニテ下腿下



- 端ニ至ル(第百四十二圖2)
- (四) 次ハ上行シ(同圖3)
- (五) 次ハ下行シ(同圖4)
- (六) 斯ノ如ク順次上行及下行ノ走行螺旋帶ヲ反復シツツ上行ノ時正面ニ於テ人字形ヲ作り下腿全面ヲ被ヒ膝關節下方ニ輪卷ヲナシテ終ル(同圖5)

注意

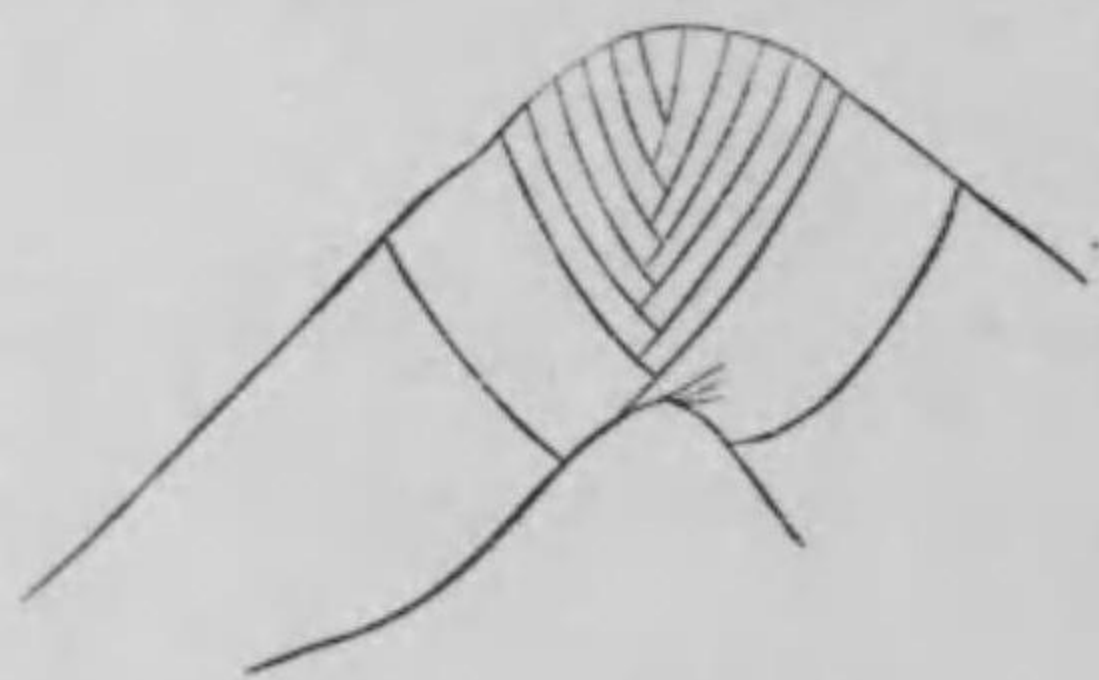
- 一、本繃帶ハ下腿ノ8字帶ノ變形ニシテ始メ累層セル8字形ニ卷キ漸次上方ニ至ルニ從ツテ8字卷トナルヘシ



二、此ノ卷方ハ下腿全面ニ互リ同時ニ下敷ヲ固定シ得ルカ故ニ下方ヨリ順次卷キ上ル卷方ニ比シ其ノ壓迫平等ニシテ且ツ固定確實ナリ

三、上行及下行ノ

走行螺旋帶ハ各帶間ノ間隔可成疎大ナラシムルヲ可トス



第百四十三圖

膝關節ノ龜ノ甲卷

膝關節ノ龜ノ甲卷

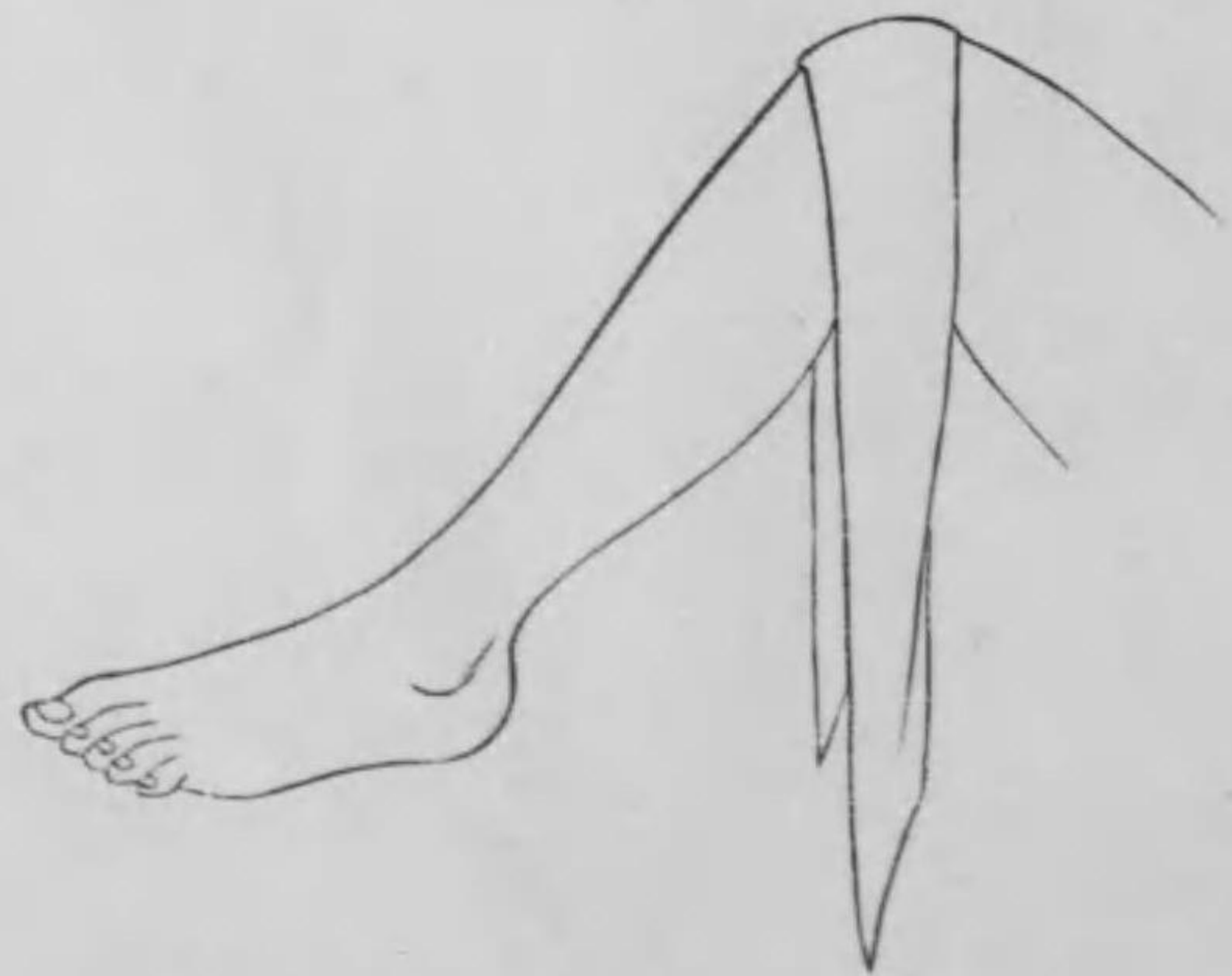
其七

膝關節ノ龜ノ甲卷

膝關節ノ龜ノ甲卷ハ該部ノ屈伸運動ヲ許ス卷方ニシテ離開龜ノ甲卷及合閉龜ノ甲卷ノ二種アリ又三角

第百四十四圖

疊三角巾應用龜ノ甲卷(離開)



1

離開龜ノ甲卷

巾ヲ以テ行フコトヲ得

一 離開龜ノ甲卷

卷軸帶ヲ以テスルニハ膝關節ノ中央ニ輪卷ヲ
ナシ

次ニ順次關節ノ上下ニ卷キ行キ膝脛ニ於テハ
各帶重襲シ膝蓋部ニ於テ各帶移開ス(第四百十
三圖)

三角巾ヲ用フルニハ疊三角巾ノ中央ヲ膝蓋部

ニ當テ兩端ヲ關節ノ左

右ヨリ各一廻シ一端ハ

前帶ノ下方ヲ廻ハリ他

ノ一端ハ前帶ノ上方ヲ

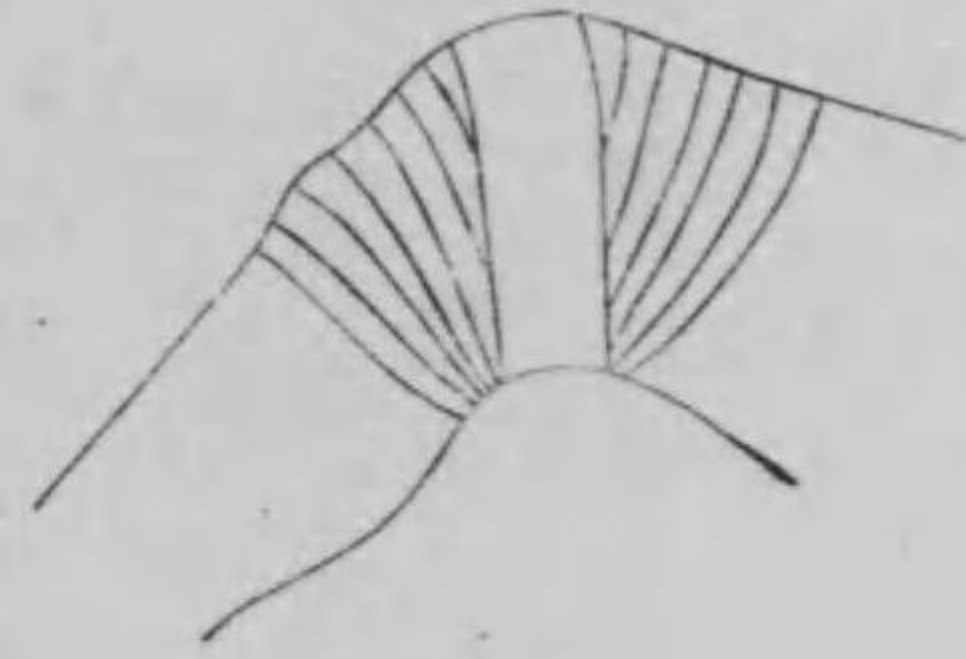
廻ハリ膝蓋部ニ於テ前帶ノ上下各約三分ノ一ヲ被

ヒ膝脛ニ於テ兩端ヲ結フ(第四百四十四圖1, 2)

膝蓋部ハ移開シ膝脛ニ於テハ收合スヘシ

第四百四十五圖

卷甲ノ龜閉合



合閉龜ノ甲卷

二 合閉龜ノ甲卷

卷方

(一) 先ツ膝關節ノ下方ニ輪卷ヲ以テ始ム

(二) 次ニ膝脛ヨリ斜ニ上リ膝蓋ノ上部ヲ一廻シ

(三) 次ニ膝蓋ノ下部ヲ一廻ス

(四) 斯ノ如ク膝脛ニ於テハ各帶重襲シ膝蓋ニ於テ各

帶ハ上方及下方ヨリ順次中央ニ向テ卷キ行キ膝

關節ノ中央ニ輪卷ヲナシテ終ル(第四百四十五圖)

三角巾ヲ以テ行フニハ疊三角巾トナシ先ツ膝關節

ノ上方及下方ヲ各一廻シ終ニ中央ヲ一廻シ膝脛ニ

於テ兩端ヲ結フヘシ

三角巾ヲ以テスル膝關節ノ綁帶ハ下敷等ノ固定上

ニ於テハ合閉龜ノ甲卷ニ比シ寧ロ離開龜ノ甲卷(第三百三十六圖)ヲ行フヲ勝

レリトス

第四百四十六圖

(法用應ノ巾角三)卷甲ノ龜閉合



教育參考 綱帶術之研究上卷終

大正四年二月十四日印刷
大正四年二月十九日發行

教育參考 綱帶術之研究上卷與付

正價 金壹圓貳拾五錢

著者 森田善四郎

東京市本郷區湯島天神町一丁目八十二番地

發行者 當麻祿三郎

東京市芝區愛宕町三丁目二番地

印刷者 佐藤與三郎

東京市芝區愛宕町三丁目二番地

印刷所 東洋印刷株式會社

發行所

東京市本郷區湯島天神町一丁目八十二番地

三 伸 堂

振替口座東京二八六八七番

不許 複製

60
354

6

終